株式会社サンヨーフーズ　エコアクション21活動

環境経営レポート

2024年4月1日～2025年3月31日

エコアクション21
認証番号0011863

－ 笠岡工場工場外観 －

作成日 ： 2025年04月30日

はじめに

弊社はセブンーイレブンのお店で販売される調理済み食品を製造する専用工場として
会社を設立して以来、拡大発展し続けるセブンーイレブンの店舗や、消費者の嗜好と
ライフ・スタイルの変化に対応する事で業容を拡大しています。

弁当やおにぎりは昔から日本人の食生活の中に深く根を下ろし、どこの家庭でも作られ
誰もが親しんでいる極めて日常的な食品です。
人々の生活の中に当たり前にある弁当やおにぎりだからこそ、安全性はもちろん食材や
味・見栄えのすべてにわたって食品としての良質さを追求し提供し続けることが、食品
製造会社である弊社の使命であり、結果として持続可能な社会に繋がると捉えています。
エコアクションはその使命追及の為の重要な活動であり、全社で取り組んでいます。

<目次>

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 経営の課題とチャンス
4. 環境方針
5. 主な環境負荷の実績
6. 環境目標
7. 環境経営計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容
8. 本社・広島工場の活動
9. 笠岡工場の活動
10. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果　並びに違反、訴訟等の有無
11. 代表者による全体評価と見直し
12. 環境活動の今後の検討事項

1. 組織の概要

（1）事業所名及び代表者氏名

株式会社　サンヨーフーズ
代表者氏名　　代表取締役　　佐々木　正信

（2）所在地

認証・登録範囲
本社・広島工場
〒738-0203　　広島県廿日市市友田字橋桁10096番地2

笠岡工場
〒714-0006　　岡山県笠岡市みの越13番

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理統括責任者	取締役本部長	白石隆一朗
EA21事務局	設備管理課　課長	廣實　秀敏
内部監査チーム	設備管理課　課長	平田　克也

連絡先
笠岡工場　〒714-0006 岡山県笠岡市みの越13番
TEL　　0865-62-6111
FAX　　0865-62-6600

（4）事業活動の内容

コンビニ店舗向け商品（弁当・おにぎり・寿司）の開発・製造

弊社ホームページよりの画像

岡山県産の食材を使用した地産地消商品

1. 組織の概要

（5）事業の規模(2024年4月1日～2025年3月31日）

売上額　13,410百万円
従業員数　1,561人

（6）認証登録の対象組織の規模

本社・広島工場
従業員数　692人
敷地面積　8,253㎡　（2,497坪）
（納入先の顧客店舗数　531店舗）

笠岡工場
従業員数　869人
敷地面積　13,435㎡　（4,064坪）
（納入先の顧客店舗数　531店舗）

両工場外観及び所在地

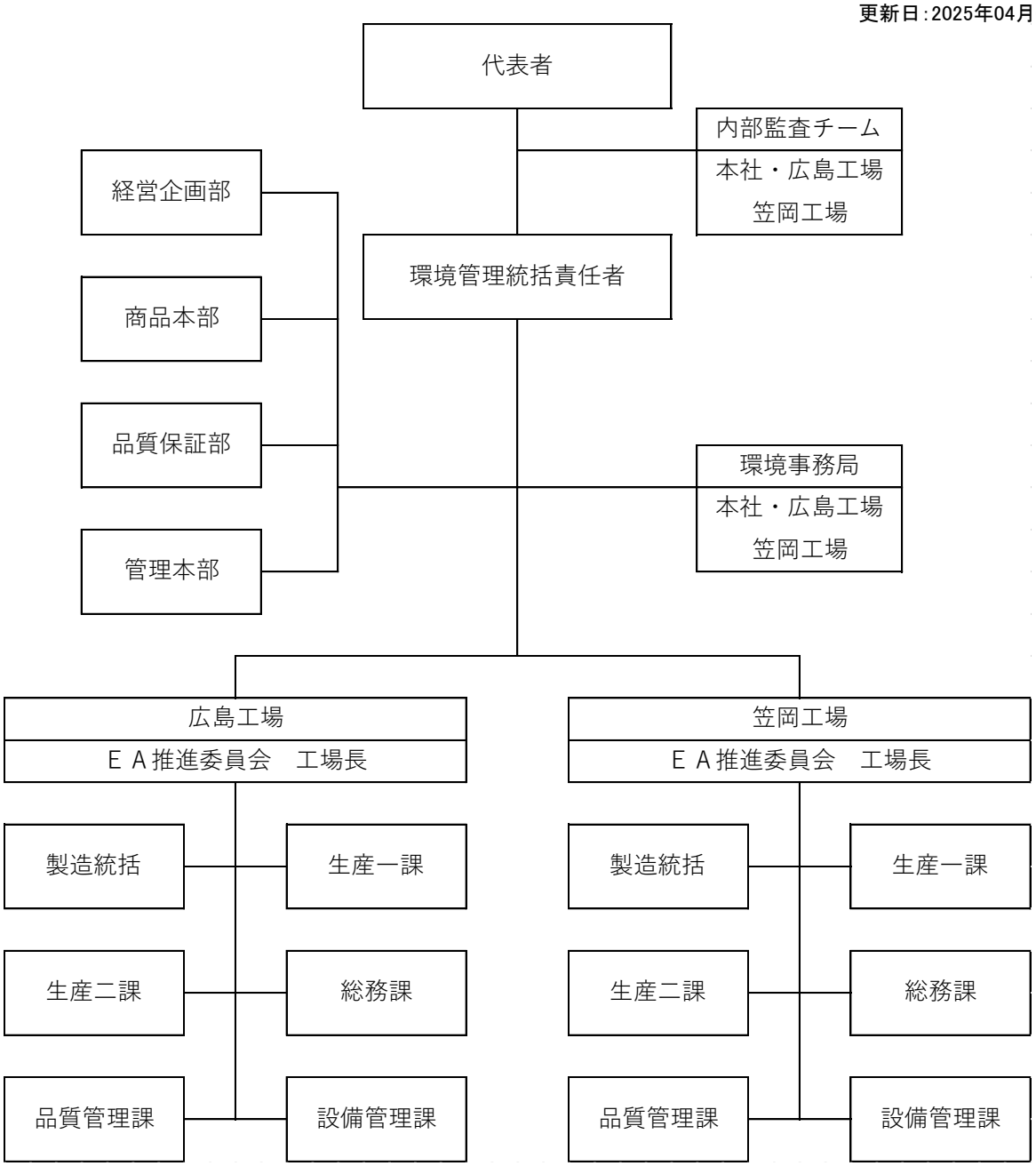
広島工場

笠岡工場

2. 対象範囲

（1）認証・登録対象組織　　本社・広島工場及び笠岡工場
（2）実施体制

更新日：2025年04月01日



2. 対象範囲

	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21推進委員会 工場長	・環境活動計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 経営の課題とチャンス

	課題	チャンス
外部	・光熱費単価の上昇 ・衛生費の上昇 ・原料費の上昇 ・売上の減少 ・常温弁当からチルド弁当へのニーズ増加(エネルギーコスト増加)	・エネルギー使用量の削減 ・消耗品類使用量の削減 ・原料ロスの削減及び歩留の向上 ・同業他社との差別化 ・セブンイレブンのグリーンチャレンジ2050 ・環境経営レポートの充実と環境活動の見える化、見せる化(魅力ある会社、責任ある会社のアピール)
内部	・社会貢献アピール ・電気、ガス、水の不適な使用 ・生産性の低下 ・労務費の上昇 ・人手不足 ・不適合品の廃棄ロス ・エコアクション21活動のマンネリ化	・エネルギー使用量の削減 ・IT化の推進 ・業務効率化による勤務時間の適正化 ・雇用環境の改善 ・不適合品の削減 ・地域食材の調達(地域活性化に貢献) ・環境に配慮した商品開発

環境に対する課題とチャンス	
課題	チャンス
原材料費・光熱費・衛生費の経費上昇 売上の減少による業務改革の必要性 雇用環境の改善	改善により、省エネ、廃棄ロス、節水等の余地がある IT化の推進等業務効率化を進め雇用環境の改善が可能 商品開発等で他社との差別化を図り売上改善が可能

環境経営方針
安心安全な製品をお客様にお届けするため、働きやすい職場を進める中で 創意工夫による衛生管理の徹底と効率的な生産を目指して継続的な改善を推進する
環境保全への行動指針
省エネルギーの削減より二酸化炭素排出量の削減に努める 廃棄ロスをなくす取組と食品リサイクルの維持向上に努める EA21活動を通して人材育成を推進する

4. 環境方針

株式会社サンヨーフーズ

環境方針

株式会社サンヨーフーズは、地球環境の保全が最重要課題であることを認識し、組織全体を挙げて環境負荷低減及び環境保全に努力いたします。

行動方針

1. 法令順守

企業倫理に基づいて、エネルギー・環境に関するあらゆる法令・規制を遵守します。

2. 環境管理

製品及びサービスに係る環境に対する影響を常に意識して、環境汚染の防止及び環境保護を推進します。

3. 具体的な省エネと廃棄物の削減

⑴電気使用量の削減

⑵ガス使用量の削減

⑶水使用量の削減

⑷食品残渣の削減

以上の削減に努めます。

4. 地域・社会との関係

地域コミュニケーションを大切にし、地域の環境活動を積極的に推進します。

5. エコアクション21の取り組み

当社は、エコアクション21を全社活動として、取り組むことを宣言いたします。

制定日：2018年1月1日

改定日：2025年6月5日

代表取締役社長　佐々木正信

5. 主な環境負荷の実績(企業全体、3年分)

排出量

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
生産量	食	93,544,734	93,053,687	89,380,368
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	14,193,777	13,491,214	13,894,734
廃棄物排出量	トン	1,697	1,707	1,602
一般廃棄物排出量	トン	674	687	619
産業廃棄物排出量	トン	1,022	1,020	982
総水使用量	m^3	206,115	199,472	200,126

原単位(百万パック当り)

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2/百万食	151,732.51	144,983.12	155,456.22
廃棄物排出量	トン/百万食	18.14	18.34	17.92
一般廃棄物排出量	トン/百万食	7.21	7.38	6.93
産業廃棄物排出量	トン/百万食	10.93	10.96	10.99
総水使用量	m^3/百万食	2,203.38	2,143.62	2,239.04

6. (基準年の環境負荷と)環境目標

全社			排出量・使用量				原単位(百万食当り)	
項目		単位	基準年度	目標	実績	目標	基準年度	実績
			2018年度	2024年度	2024年度	2025年度	2018年度	2024年度
生産量		食	107,044,789	113,467,476	89,380,368	114,537,924		
生産重量		kg	21,141,057	22,409,521	16,058,509	22,620,931		
電気 二酸化炭素排出係数:0.706	使用量	kWh	11,840,798	12,551,246	12,756,951	12,669,654	106,887	146,110
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	8,359,604	8,861,180	9,006,407	8,944,776	75,463	103,153
ガス 単位発熱量:50.2 LPG kg換算:1.99	使用量	kg	1,806,237	1,914,612	1,520,150	1,932,674	15,645	16,977
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	5,422,253	5,747,588	4,563,428	5,801,811	46,967	50,963
自動車(ガソリン) 単位発熱量:34.6	使用量	L	45,165	47,875	35,885	48,327	319	313
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	104,858	111,149	83,313	112,198	741	727
自動車(軽油) 単位発熱量:38.2	使用量	L	75,985	80,544	91,925	81,304	723	1,111
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	199,411	211,376	241,241	213,370	1,898	2,916
水使用量	使用量	m^3	219,568	232,742	200,126	234,938	1,869	2,003
食品廃棄物量	発生量	kg	838,030	888,312	868,420	896,692	7,462	9,327
廃プラスチック	発生量	kg	446,380	473,163	517,070	477,627	6,962	9,502
食品廃棄物リサイクル ※全て飼料として再生利用	リサイクル率	%	100	100	100	100		

6.（基準年の環境負荷と)環境目標

広島工場			排出量・使用量				原単位(百万食当り)	
項目		単位	基準年度	目標	実績	目標	基準年度	実績
			2018年度	2024年度	2024年度	2025年度	2018年度	2024年度
生産量		食	43,443,210	46,049,803	35,284,256	46,484,235		
生産重量		kg	9,305,772	9,864,118	6,667,567	9,957,176		
電気 二酸化炭素排出係数：0.706	使用量	kWh	5,907,446	6,261,893	5,731,754	6,320,967	13,598	16,245
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	4,170,657	4,420,896	4,046,618	4,462,603	9,600	11,469
ガス 単位発熱量：50.2 LPG kg換算：1.99	使用量	kg	950,297	1,007,314	710,744	1,016,817	2,187	2,014
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	2,852,753	3,023,918	2,133,626	3,052,446	6,567	6,047
自動車(ガソリン) 単位発熱量：34.6	使用量	L	29,144	30,893	22,365	31,184	67	63
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	67,663	71,723	51,923	72,399	156	147
自動車(軽油) 単位発熱量：38.2	使用量	L	35,118	37,225	37,575	37,576	81	106
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	92,160	97,690	98,610	98,611	212	279
水使用量	使用量	m^3	117,961	125,039	108,407	126,218	272	307
食品廃棄物量	発生量	kg	425,740	451,284	429,780	455,542	980	1,218
廃プラスチック	発生量	kg	4,230	4,484	3,620	4,526	10	10
食品廃棄物リサイクル ※全て肥料として再生利用	リサイクル率	%	100	100	100	100		

笠岡工場			排出量・使用量				原単位(百万食当り)	
項目		単位	基準年度	目標	実績	目標	基準年度	実績
			2018年度	2024年度	2024年度	2025年度	2018年度	2024年度
生産量		食	63,601,579	67,417,674	54,096,112	68,053,690		
生産重量		kg	11,835,285	12,545,403	9,390,942	12,663,755		
電気 二酸化炭素排出係数：0.706	使用量	kWh	5,933,352	6,289,353	7,025,197	6,348,687	93,289	129,865
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	4,188,947	4,440,283	4,959,789	4,482,173	65,862	91,685
ガス 単位発熱量：50.2 LPG kg換算：1.99	ガス	kg	855,941	907,297	809,405	915,857	13,458	14,962
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	2,569,500	2,723,670	2,429,802	2,749,365	40,400	44,916
自動車(ガソリン) 単位発熱量：34.6	使用量	L	16,021	16,982	13,521	17,142	252	250
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	37,195	39,426	31,390	39,798	585	580
自動車(軽油) 単位発熱量：38.2	使用量	L	40,868	43,320	54,349	43,729	643	1,005
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	107,251	113,686	142,631	114,759	1,686	2,637
水使用量	使用量	m^3	101,607	107,703	91,719	108,719	1,598	1,695
食品廃棄物量	発生量	kg	412,290	437,027	438,640	441,150	6,482	8,109
廃プラスチック	発生量	kg	442,150	468,679	513,450	473,101	6,952	9,491
食品廃棄物リサイクル ※全て飼料として再生利用	リサイクル率	%	100	100	100	100		

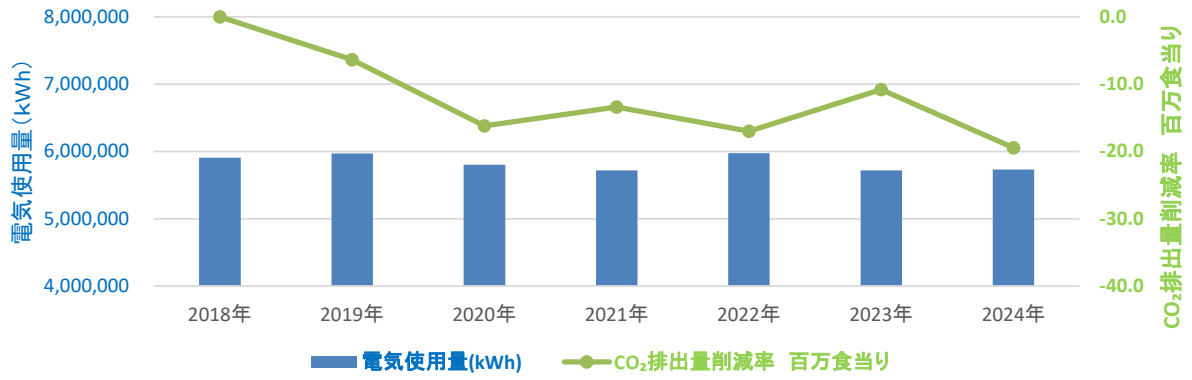
7. 環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

電気使用量削減

取組	達成状況 広島	達成状況 笠岡	取組結果とその評価及び次年度の取組内容
・不要照明の消灯管理	○	○	生産量は減少しているが使用量は増加している。その結果、原単位は上昇している。生産ラインの集約、生産設備稼働時間の見直しを行い使用量の削減に努める。
・生産設備待機時電源OFF	○	○	

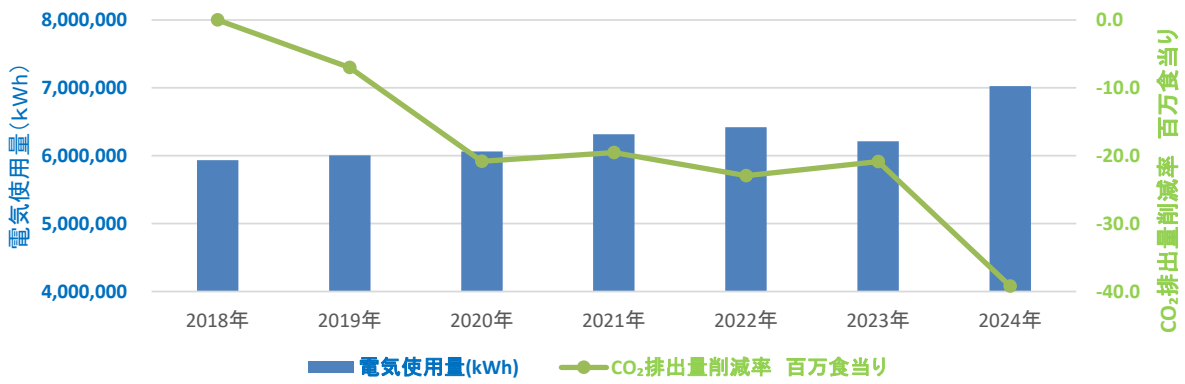
広島工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
電気使用量(kWh)	5,907,446	5,969,692	5,803,196	5,717,390	5,973,606	5,717,390	5,731,754
CO_2排出量　百万食当り(kg-CO2)	96,003	102,104	111,546	108,881	112,309	106,381	114,686
CO_2排出量削減率　百万食当り	-	-6.4	-16.2	-13.4	-17.0	-10.8	-19.5



笠岡工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
電気使用量(kWh)	5,933,352	6,006,536	6,062,568	6,316,596	6,420,598	6,213,643	7,025,197
CO_2排出量　百万食当り(kg-CO2)	65,862	70,479	79,561	78,718	80,955	79,601	91,684.8
CO_2排出量削減率　百万食当り	-	-7.0	-20.8	-19.5	-22.9	-20.9	-39.2



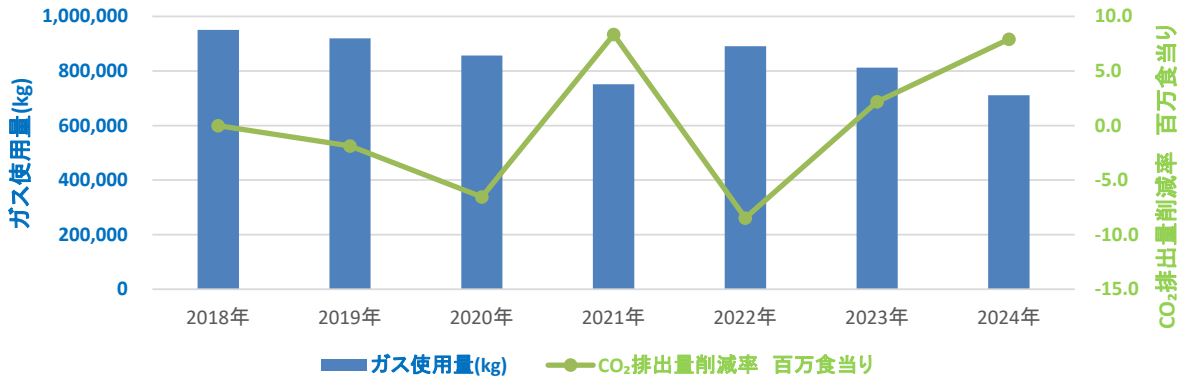
7. 環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

ガス使用量の削減

取組	達成状況 広島	達成状況 笠岡	取組結果とその評価及び次年度の取組内容
・蒸気ボイラー定期点検	○	○	広島工場は減少し、笠岡工場は増加している。その結果、広島工場は原単位が改善し、笠岡工場は原単位が上昇している。広島工場の減少は熱回収装置導入の効果が含まれていると考えられ、笠岡工場でも冬季より導入されているので削減効果が期待される。
・ストレーナーの点検、清掃	○	○	

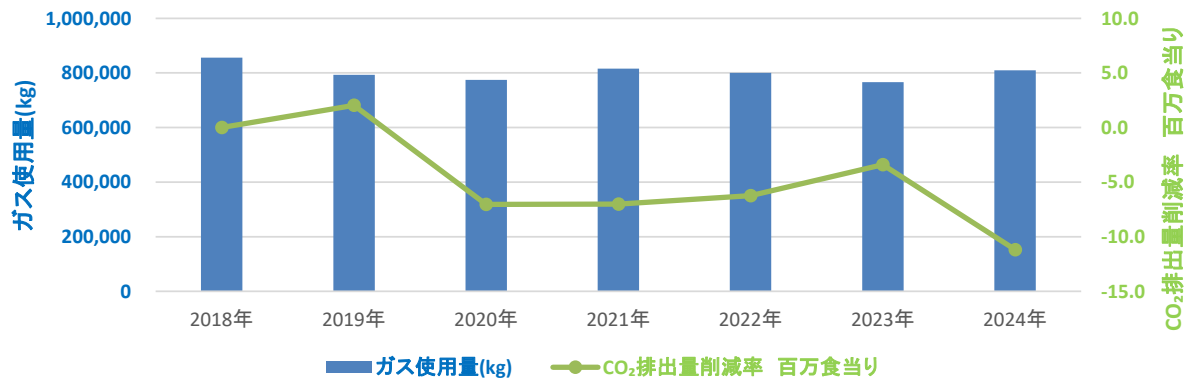
広島工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
ガス使用量(kg)	950,297	919,790	856,082	751,101	890,983	811,809	710,744
CO_2排出量　百万食当り(kg-CO2)	65,666	66,893	69,969	60,190	71,228	64,227	60,470
CO_2排出量削減率　百万食当り	-	-1.9	-6.6	8.3	-8.5	2.2	7.9



笠岡工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
ガス使用量(kg)	855,941	793,270	775,000	815,871	800,645	766,794	809,405
CO_2排出量　百万食当り(kg-CO2)	40,400	39,578	43,246	43,233	42,925	41,769	44,916
CO_2排出量削減率　百万食当り	-	2.0	-7.0	-7.0	-6.2	-3.4	-11.2



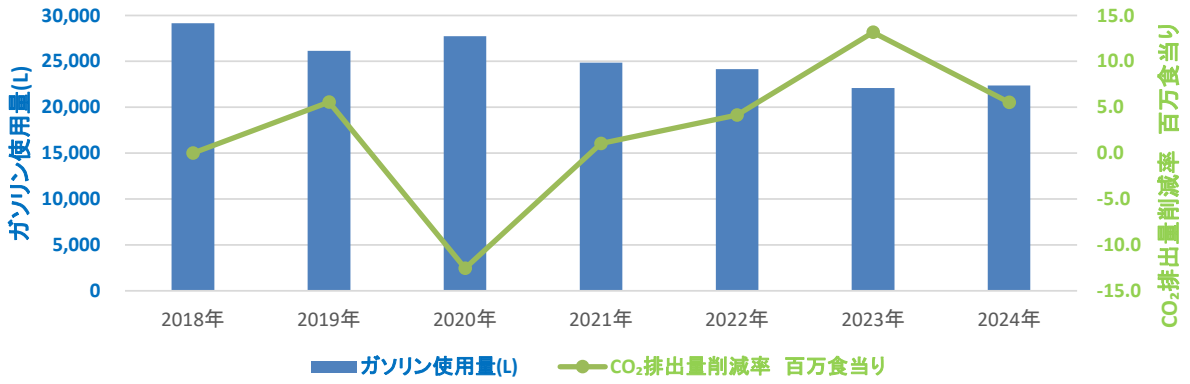
7. 環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

自動車　ガソリン使用量の削減

取組	達成状況 広島	達成状況 笠岡	取組結果とその評価及び次年度の取組内容
・エコ運転	○	○	両工場とも使用量は横ばいで大きな変化は見られないが原単位はやや上昇している。エコ運転の推進を継続して実施し使用量の削減に努める。

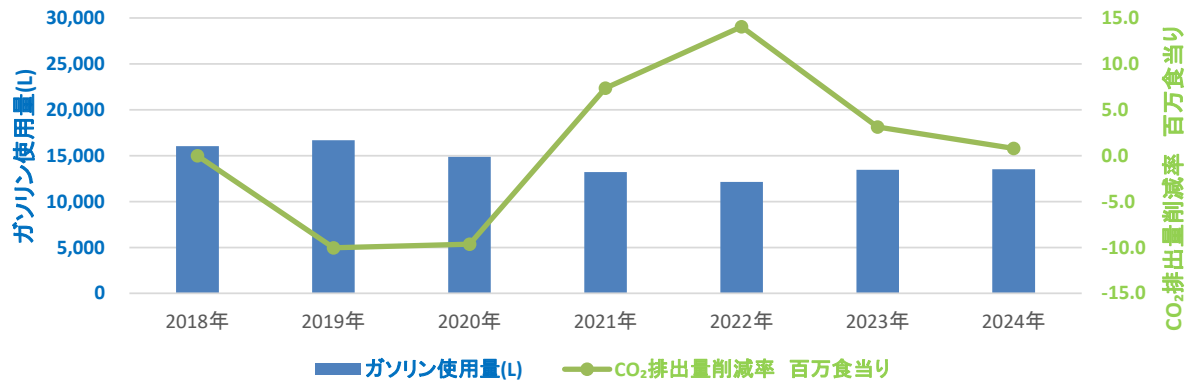
広島工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
ガソリン使用量(L)	29,144	26,155	27,732	24,867	24,149	22,104	22,365
CO_2排出量　百万食当り(kg-CO2)	1,558	1,471	1,753	1,541	1,493	1,353	1,472
CO_2排出量削減率　百万食当り	–	5.5	−12.5	1.1	4.1	13.2	5.5



笠岡工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
ガソリン使用量(L)	16,021	16,678	14,859	13,222	12,123	13,450	13,521
CO_2排出量　百万食当り(kg-CO2)	585	644	641	542	503	567	580
CO_2排出量削減率　百万食当り	–	−10.0	−9.7	7.3	14.0	3.1	0.8



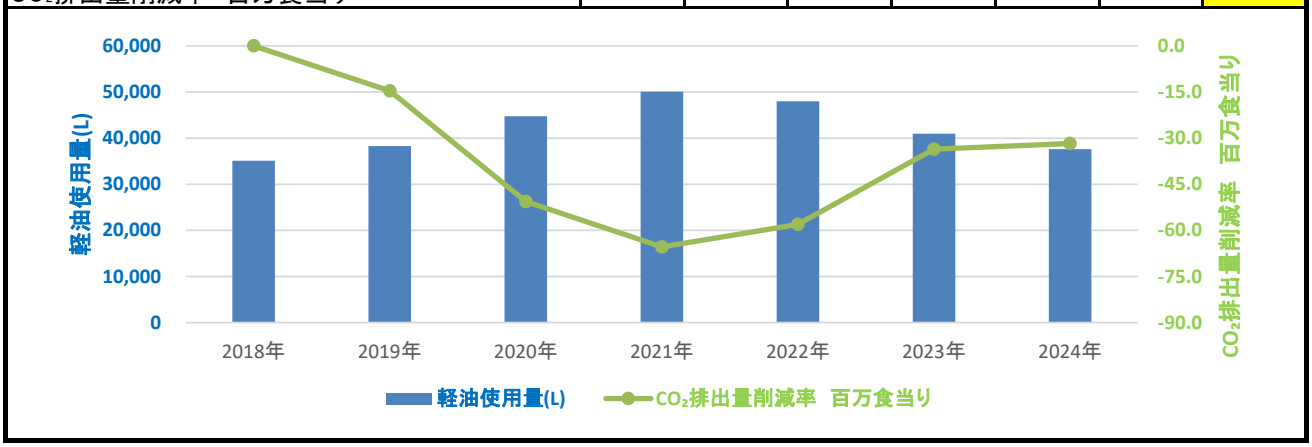
7. 環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

自動車　軽油使用量の削減

取組	達成状況		取組結果とその評価及び次年度の取組内容
	広島	笠岡	
・エコ運転	○	○	広島工場では減少し、笠岡工場では増加しているが、両工場の合計では減少している。エコ運転の推進を継続して実施し使用量の削減に努める。

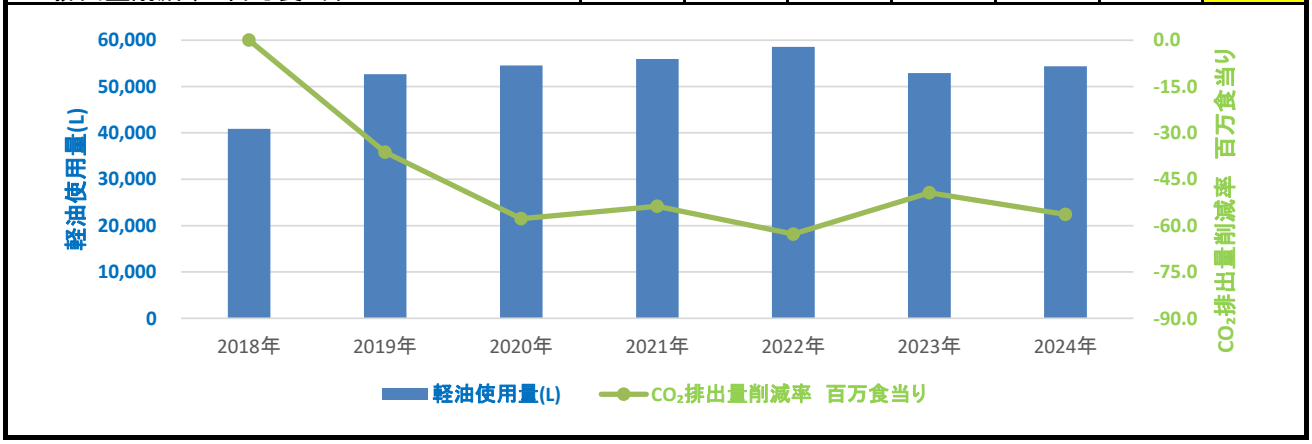
広島工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
軽油使用量(L)	35,118	38,259	44,726	50,082	47,975	40,968	37,575
CO_2排出量　百万食当り(kg-CO2)	2,121	2,432	3,196	3,509	3,353	2,834	2,795
CO_2排出量削減率　百万食当り	-	-14.7	-50.6	-65.4	-58.0	-33.6	-31.7



笠岡工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
軽油使用量(L)	40,868	52,686	54,532	55,971	58,552	52,887	54,349
CO_2排出量　百万食当り(kg-CO2)	1,686	2,298	2,660	2,593	2,744	2,518	2,637
CO_2排出量削減率　百万食当り	-	-36.3	-57.8	-53.8	-62.7	-49.3	-56.4



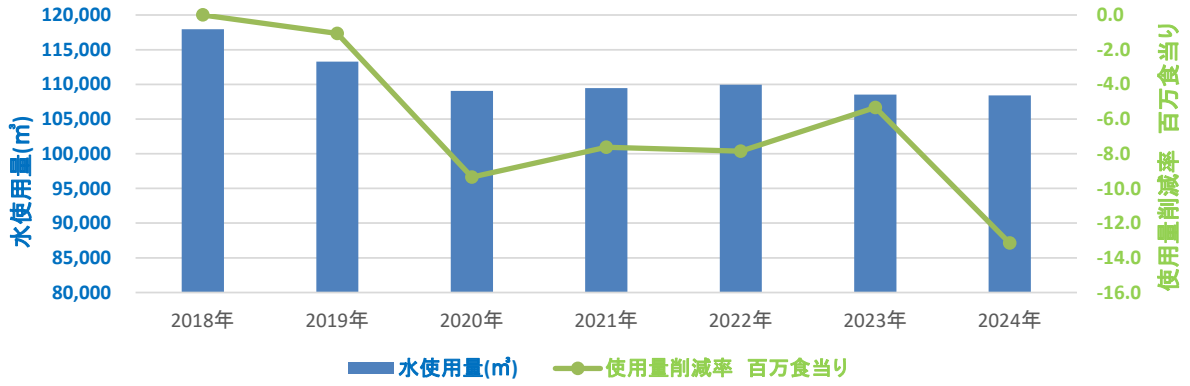
7. 環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

水使用量の削減

取組	達成状況 広島	達成状況 笠岡	取組結果とその評価及び次年度の取組内容
・使用状況計測・分析	○	○	両工場とも生産量が減少しているが使用量に大きな変化は見られない。継続して使用状況の分析を行い、設備又や場所ごとでの使用量の見直しを行い水使用量の削減に努める。
・水漏れ箇所の点検、修理	○	○	

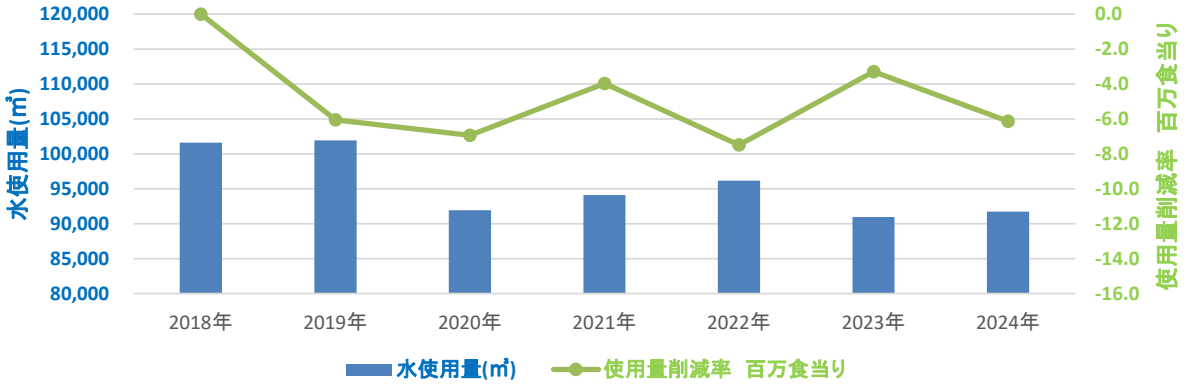
広島工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
水使用量(㎥)	117,961	113,282	109,048	109,467	109,960	108,524	108,407
水使用量　百万食当り(㎥)	2,715	2,744	2,969	2,922	2,928	2,860	3,072
使用量削減率　百万食当り	－	−1.1	−9.3	−7.6	−7.8	−5.3	−13.2



笠岡工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
水使用量(㎥)	101,607	101,939	91,914	94,098	96,155	90,948	91,719
水使用量　百万食当り(㎥)	1,598	1,694	1,709	1,661	1,717	1,650	1,695
使用量削減率　百万食当り	－	−6.1	−6.9	−4.0	−7.5	−3.3	−6.1



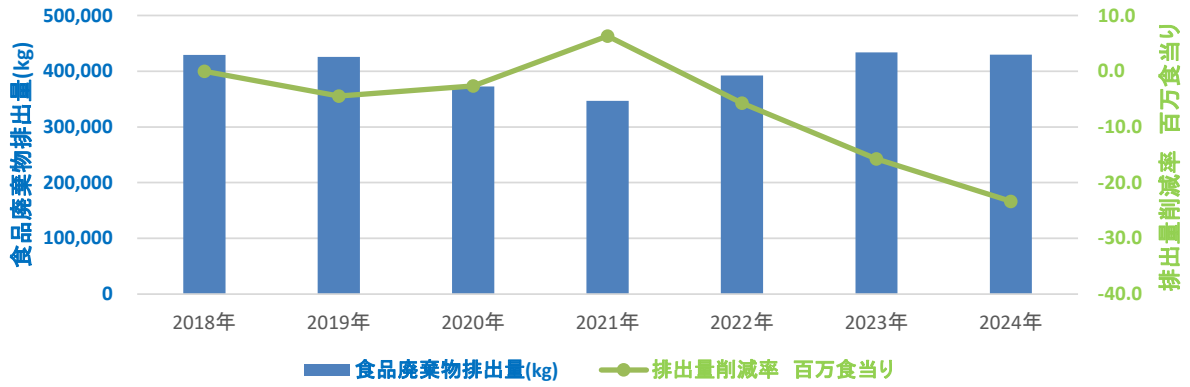
7. 環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

食品廃棄物量の削減

取組	達成状況 広島	達成状況 笠岡	取組結果とその評価及び次年度の取組内容
・製造ロス削減	○	△	両工場とも生産量が減少しているが、広島工場では減少し、笠岡工場では増加している。継続して製造ロス削減等の取組を行い食品廃棄物量の削減に努める。
・社内販売による食品廃棄物の削減	○	△	

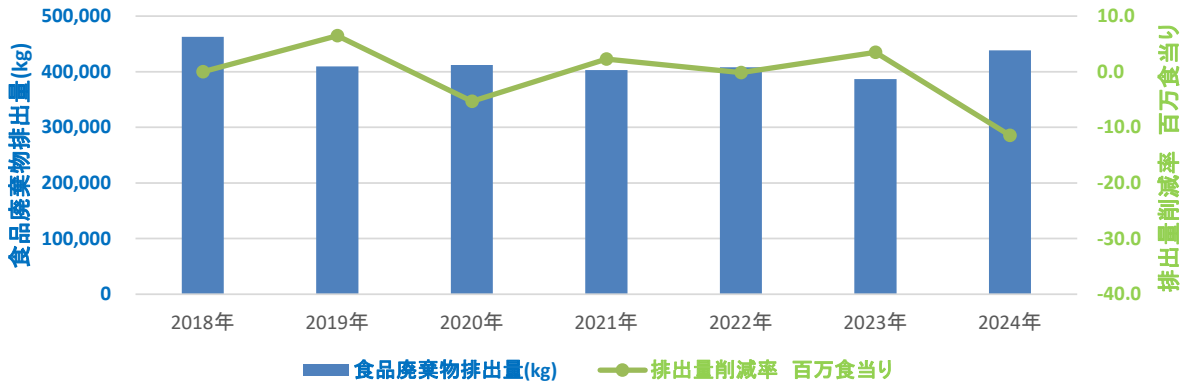
広島工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
食品廃棄物排出量(kg)	429,020	425,740	372,350	346,590	392,152	433,660	429,780
食品廃棄物排出量(kg) 百万食当り	9,875	10,314	10,138	9,252	10,443	11,429	12,181
排出量削減率 百万食当り	−	−4.4	−2.7	6.3	−5.7	−15.7	−23.3



笠岡工場

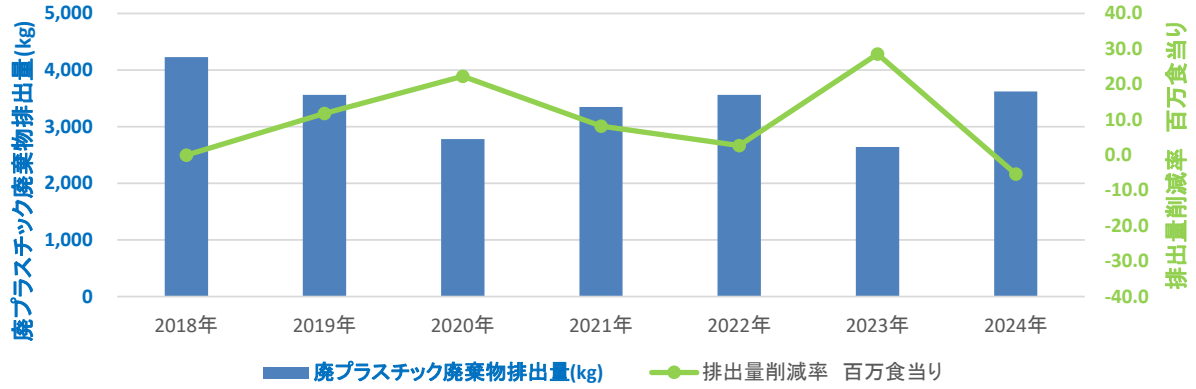
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
食品廃棄物排出量(kg)	462,700	409,370	412,290	402,830	408,040	386,860	438,640
食品廃棄物排出量(kg) 百万食当り	7,275	6,804	7,664	7,111	7,287	7,020	8,109
排出量削減率 百万食当り	−	6.5	−5.3	2.3	−0.2	3.5	−11.5



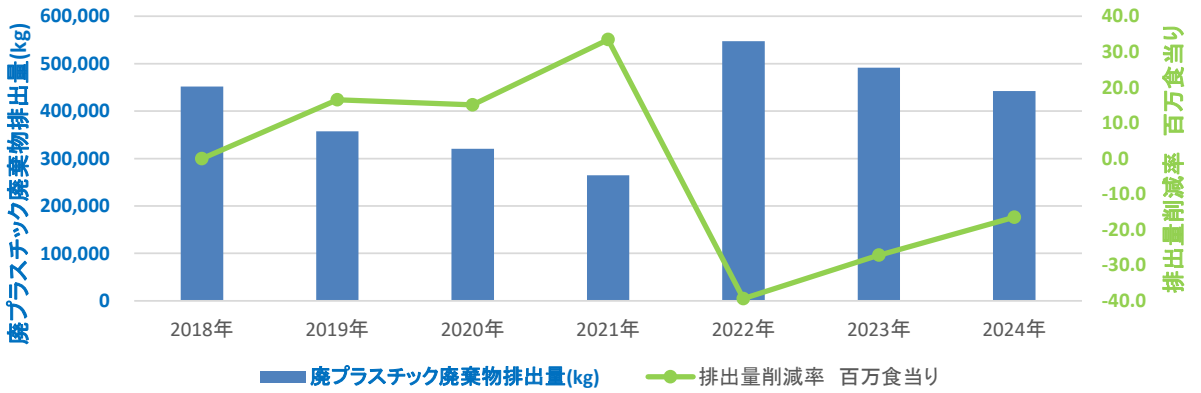
7. 環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

廃プラスチック廃棄物量の削減			
取組	達成状況		取組結果とその評価及び次年度の取組内容
	広島	笠岡	
・製造ロス削減	△	△	両工場とも廃棄物排出量が減少しているが、原単位では増加している。継続して製造ロス削減等の取組を行い廃プラスチック廃棄物量の削減に努める。

広島工場							
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
廃プラスチック廃棄物排出量(kg)	4,230	3,560	2,780	3,350	3,560	2,640	3,620
廃プラスチック廃棄物排出量(kg)　百万食当り	97	86	76	89	95	70	103
排出量削減率　百万食当り	－	11.7	22.3	8.2	2.6	28.5	−5.4



笠岡工場							
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
廃プラスチック廃棄物排出量(kg)	451,470	357,460	320,480	264,560	547,290	491,480	442,150
廃プラスチック廃棄物排出量(kg)　百万食当り	7,014	5,854	5,957	4,670	9,774	8,918	8,173
排出量削減率　百万食当り	－	16.5	15.1	33.4	−39.4	−27.2	−16.5



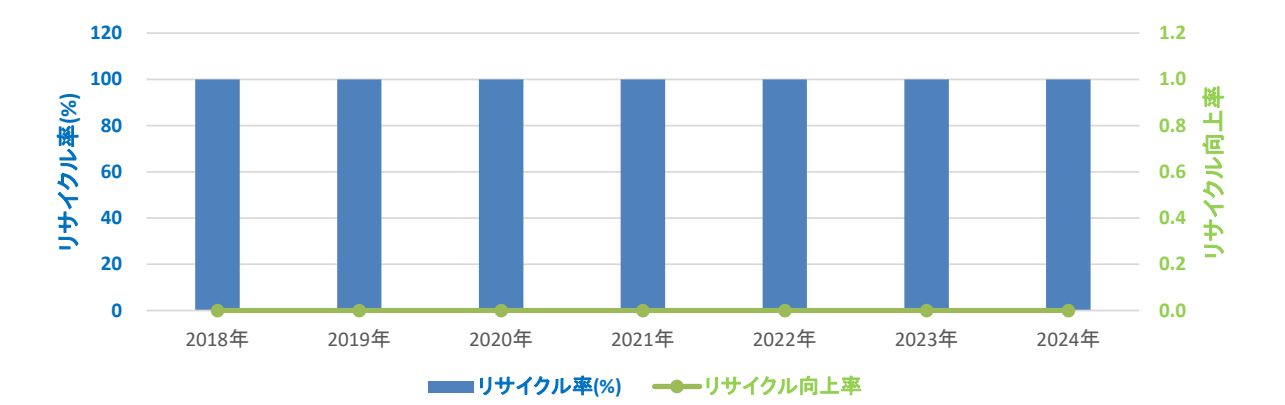
7. 環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

食品廃棄物リサイクル率向上

取組	達成状況		取組結果とその評価及び次年度の取組内容
	広島	笠岡	
・食品廃棄物とその他の廃棄物との分別を徹底	○	○	リサイクル率は100%を維持している。 継続して取組を行いリサイクル100%維持に努める。
・製造ロス削減	○	○	

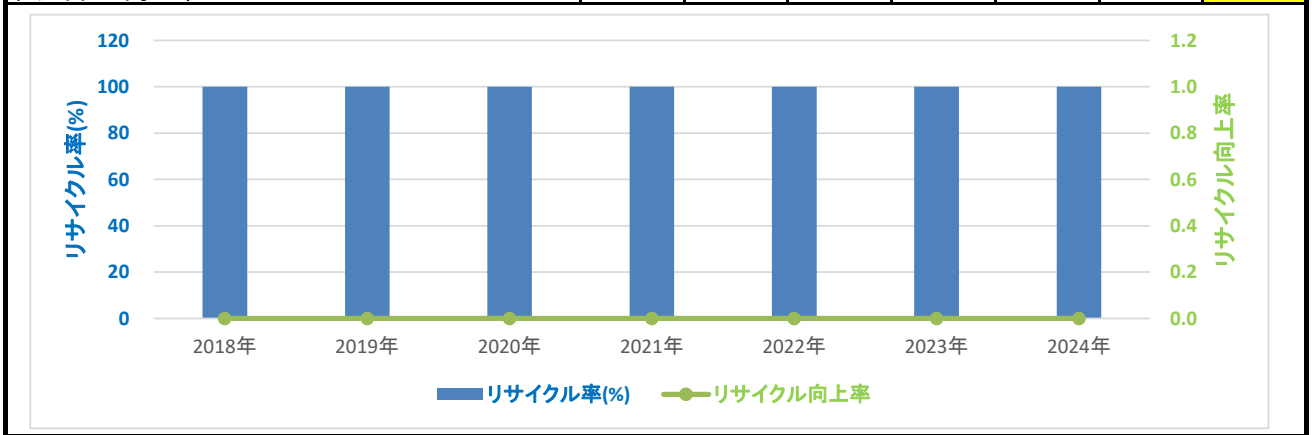
広島工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
リサイクル率(%)	100	100	100	100	100	100	100
リサイクル向上率	－	0	0	0	0	0	0



笠岡工場

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
リサイクル率(%)	100	100	100	100	100	100	100
リサイクル向上率	－	0	0	0	0	0	0



8. 本社・広島工場の活動(省エネルギー活動)

・フードミキサー導入による労務費削減

長鮮度ツナマヨ和えの手混ぜをフードミキサーに変え月約万円の労務費削減

導入前の作業
1日　12分を　15回　＝180分

手混ぜによる作業者負担大！！

フードミキサー導入後
1日　20分を3回＝60分
サニテーション昼夜計2回×20分＝40分

導入したフードミキサー

フードミキサー導入後　作業者負担減！！

・チルド2ラインを1ラインに集約による電気使用量削減

2階チルドライン

1階チルドライン

9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ3	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ4	合計	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ3	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ4	合計	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ3	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ4	合計	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ3	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ4	合計	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ3	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ4	合計	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ3	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ4	合計	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ3	ｽﾃｰﾑｰﾌﾞﾝ4	合計
291	158	449	264	148	412	627	358	985	310	165	475	236	131	367	284	159	443	302	159	460
672	408	1081	269	150	420	547	310	857	298	165	463	261	154	415	291	161	452	300	162	462
759	443	1202	684	380	1064	614	352	967	536	307	843	261	148	408	297	162	459	284	156	441
762	457	1219	281	157	438	561	327	888	435	258	693	256	146	403	301	163	464	297	163	460
754	455	1209	262	143	405	537	309	845	599	347	946	296	164	461	294	165	459	354	187	541
698	430	1128	295	160	455	502	293	796	598	343	940	281	158	439	293	170	463	310	166	477
684	403	1087	275	148	422	651	377	1028	458	269	727	283	157	440	241	131	372	283	162	445
681	405	1086	270	149	418	511	297	809	472	287	760	285	158	442	0	0	0	286	158	444
598	351	949	284	158	442	475	282	757	347	194	541	278	155	433	49	31	79	327	180	507
614	362	975	307	164	471	497	287	783	337	189	526	292	165	456	305	172	477	283	154	437
589	344	933	289	163	452	480	261	741	446	258	704	291	160	451	263	147	410	298	156	454
710	427	1137	258	147	405	526	298	824	339	192	532	307	175	482	283	157	439	292	156	448
588	345	934	305	196	501	445	250	695	405	231	636	279	160	438	283	155	439	419	229	649
574	341	914	598	324	922	493	280	773	206	114	320	296	168	464	280	152	432	319	163	482
602	351	952	607	326	932	455	259	714	294	162	456	336	194	530	284	154	437	281	156	437
271	160	431	603	353	955	444	254	698	485	278	763	283	162	445	312	170	482	300	159	459
255	147	402	344	199	543	287	159	446	568	332	900	291	166	457	275	150	425	550	310	860
515	319	834	300	174	474	439	254	693	497	290	787	296	165	460	816	442	1259	305	167	471
510	292	803	254	143	397	538	304	841	601	347	948	286	157	443	207	112	319	298	164	462
508	301	809	291	149	440	519	294	812	520	301	821	221	129	349	298	154	452	355	197	552
611	357	968	267	150	417	644	365	1008	517	300	817	298	169	467	290	158	448	301	171	472
243	137	380	283	153	436	526	296	822	536	309	845	336	191	527	276	153	429	281	159	440
466	265	732	283	157	440	525	296	821	277	156	433	308	169	477	295	160	455			0
694	391	1086	308	169	476	547	310	858	220	124	344	290	161	451	468	267	735			0
365	211	576	288	161	450	278	139	417	283	162	445	279	154	434	501	274	776			0
305	175	480	291	154	445	279	138	417	300	168	468	281	159	440	693	372	1065			0
664	374	1038	289	157	446	295	155	451	309	170	479	276	155	431	608	336	944			0
271	149	420	607	341	948	395	237	632	267	154	421	275	150	426	608	336	944			0
285	153	438	606	343	949	304	163	467	641	374	1015	402	236	638			0			0
261	145	406	642	369	1011	280	152	432	551	317	868	297	164	461			0			0
		0	735	390	1126			0	229	130	359	293	171	464			0			0
15801	9255	25056	11639	6475	18115	14222	8054	22276	12881	7392	20273	8950	5049	13999	9395	5162	14556	7025	3834	10859

※黄色ハッチング箇所削減効果有

8. 本社・広島工場の活動(緊急事態想定訓練)

・避難訓練
2025年6月4日（昼勤）、5日（夜勤）に実施

・消火訓練
2025年5月9日に実施

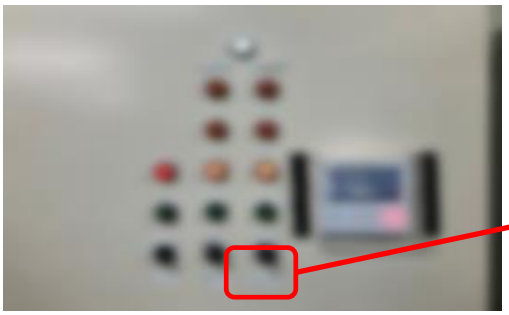
8. 本社・広島工場の活動(地域の行事への参加)

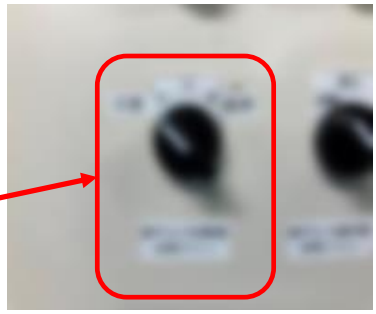
・光が丘まつり参加の様子
2025年3月1日

9. 笠岡工場の活動(省エネルギー活動)

・新チルド加熱室のスチームオーブンとエアハン・排気ファンの連動化による節電取組み

スチームオーブンとエアハン・排気ファンをスイッチを連動化させてスチームオーブン停止時にはエアハン・排気ファンも停止させて電気使用量を削減に取り組んだ。





排気ファンの切り替えスイッチを2路から3路に変更して連動モードを追加した。

エアハン	負荷容量	31.1kw
排気ファン	負荷容量	5.5kw
計		36.6kw

1日8時間停止させるとして1日292.8kwの削減。

・熱回収装置設置

広島工場で実績のある熱回収装置を笠岡工場でも内番重洗浄機に設置してガス使用量削減に取り組んだ。
2025年1月に導入。

内番重洗浄機の排水を利用して熱回収。

カロリーメーターで回収した熱量を測定。

導入して2か月の実績

	2月	3月
LPGガス削減量(㎥)	336	380
CO_2削減量(kg-CO_2)	2,112	2,448

９. 笠岡工場の活動(省エネルギー活動)

・ペーパータオルからエアータオルへ変更による経費削減とペーパーレス化

エアータオル導入により設置代と電気代はかかりますが、
廃棄物が1日3kg減、年間1,095kg減の効果が見込まれます。

９. 笠岡工場の活動(緊急事態想定訓練)

・避難訓練

2024年11月19日、20日に昼勤と夜勤の2回実施。
フライヤーで火災が発生したという設定で行った。

初期消火班

通報班

避難確認

点呼確認

総括

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果　並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規名	要求事項	遵守評価	
		広島工場	笠岡工場
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・収集業者の許可書確認	○	○
	・委託書の締結及び保管	○	○
	・保管基準の遵守	○	○
	・廃棄物管理票の交付	○	○
	・交付等状況報告書の提出 （写しの送付、保管5年間）	○	○
	・処理状況の確認	○	○
水道法	・水質基準の遵守	○	○
浄化槽法	・設置、変更の届出	○	○
	・保守点検、清掃、記録の保管（3年間）	○	○
	・定期検査（指定検査機関での実施）	○	○
消防法	・防火管理者の選任	○	○
	・定期点検、記録の保管（3年間）	○	○
フロン排出抑制法	・登録者による適切な引き渡し	○	○
	・証明書の保管	○	○
	・定期点検の実施	○	○
	・点検記録の保管	○	○
	・算定漏えい量の報告	○	○
エネルギー使用の合理化に関する法律	・使用状況の把握	○	○
	・管理統括者、企画推進者の選任	○	○
	・管理員の選任	○	○
	・資質向上講習の受講	○	○
	・中長期計画、定期報告書の提出	○	○
地球温暖化対策の推進に関する法律	・算定排出量に関する定期報告	○	○
高圧ガス保安法	・技術上の基準に従った貯蔵	○	○
食品リサイクル法	・再資源化率の目標の達成を目指す	○	○
	・定期報告書の義務化	○	○
	・リサイクル率85%以上の達成	○	○
電気事業法	・定期点検の実施	○	○
騒音・振動規制法	・設置届出書	○	○
	・取扱い説明書	○	○
	・現物確認	○	○
	・笠岡市公害防止協定遵守	―	○
プラスチック資源循環法	・プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制・再資源	○	○
労働安全衛生法	・職長等に対する安全衛生教育	○	○
	・化学物質リスクアセスメント	○	○
	・化学物質管理者の選任	○	○
その他 セブンイレブン要求	・エコアクション21取得	○	○
	・食品リサイクル率85%以上	○	○
	・県条例(温対法)、5ヶ年計画の達成	○	○

・環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
・今年度訴訟はありません。

11. 代表者による全体評価と見直し

（1）全体評価

項目	評価の内容
環境への取り組みは適切に実施されているか	エネルギー使用量の削減活動や廃棄物削減活動は適切に取組が継続して行われている
環境経営システムが有効に機能しているか	問題なく継続して有効に機能している
遵守すべき関係法案に問題はないか	環境関連法規及び条例に対する違反や関係当局からの違反指示や訴訟は有りません

（2）見直し

対象	変更の有無	見直し内容
環境経営方針	☐ 有　☑ 無	環境経営を継続するにあたり見直しを実施し継続的な改善活動を宣言します
環境保全行動指針	☐ 有　☑ 無	企業の取り組みを具体的に明記します
実施体制	☑ 有　☐ 無	企業の実施体制を具体的に明記します

（3）実績コメント

2024年度の実績として生産数は前年度対比96%と減少し、二酸化炭素排出量は102%と増加しました。増加した要因として笠岡工場では新ライン増設の為受電キュービクルを新設し外気導入式エアハン、給排気設備、生産設備ではトンネルフリーザー等大型設備を導入し結果エネルギー使用量、原単位が増加しました。一方広島工場では省エネ活動の取組みで生産ラインの集約、洗浄機では排熱回収装置の運用によりLPG削減の効果が表れています。
このような結果を踏まえ地球環境に配慮した事業活動を行う為、エコアクション21活動を全社で行い次年度も引き続き環境経営を実施致します。

12. 環境活動の今後の検討事項

①SDGsの啓蒙

作成日：2023年4月1日

株式会社サンヨーフーズ　サステナビリティ

2030年 あるべき姿

食と職を創造し、みんなが笑顔に

サンヨーフーズはコンビニエンスストア向けの弁当・おにぎり・お寿司を製造し、お客様の「食」を豊かにできるよう事業に取り組んでいます。お客様の「食」を豊かにするには、地球環境を守り、経済の安定化に貢献し、そしてダイバーシティ（多様性）に自ら取り組むことが重要であり、その基盤は地域社会にあります。持続可能な地域社会の実現に向けて、私どもは誰一人取り残すことなく、人を活かし、品質を極め「食」と「職」を創造し、地域社会の好循環に貢献し、さらなる暮らしの向上を目指す活動を行います。

マテリアリティ（重要課題）と該当するSDGs

お客様のニーズにあった商品の提供

お客様に笑顔になってもらえる商品の開発と製造を行い、地域の方へ安全・安心と美味しさをお届けする。

主な取組み

- 食品安全に関連する法令・規制要求事項を遵守する。
- お客様の健康に配慮した安全・安心な商品を製造する。
- お客様の声に耳を傾け地域に根差した商品開発を行う。
- 徹底したマーケティングにより顧客ニーズを捉え需要の増加を図る。

地球環境に配慮した事業活動

地球環境の維持と事業活動を両立するために、フードロス削減、適切なエネルギー使用と廃棄物処理を実践する。

主な取組み

- 製造工程で発生する廃棄物の削減に注力する。
- エネルギーの適正使用（可視化）と再生可能エネルギーの活用。
- 食品廃棄物の分別と適正処理（リサイクル及び焼却時のCO2削減）。
- 水使用の効率化と排水の適正処理（持続的な水資源の確保）。

多様性を尊重し誰もが活躍できる社会の実現

多様性を尊重し、高めることで人や価値観の新たなコラボレーションを育む環境をつくり、新しい発想やイノベーション（変革）を起こす組織にする。

主な取組み

- 個人のニーズに応じた雇用形態や働き方、公正な職務評価を行う。
- 女性人材の活躍を推進し、性差別なく働ける機会を享受する。
- LGBTQや障がい者などの社会的マイノリティの理解を深める。
- 働く能力と意欲を育て技能等の修得・習熟・熟達を図る。

持続可能な雇用の創出

ダイバーシティを実現し、不合理な待遇差をなくし、雇用の安定を推進する。

主な取組み

- ワーク・ライフ・バランスがとれる企業風土を醸成する。
- 業務効率を高め、時間当たりの生産性向上に努める。
- 従業員の健康管理を経営課題として戦略的に取り組む。
- 働き方に応じて労働条件の均衡待遇・均等待遇を図る。

公正かつ誠実な事業活動

企業の社会的信頼度を高め、企業価値を維持するため、コンプライアンスを遵守し、クリアでクリーンな活動を実行する。

主な取組み

- 関連法規をはじめ倫理や社会規範を遵守し、従業員に対し理解と周知を行う。
- 適切な企業統治と情報開示を行う。
- 誠実な消費者対応を行う。
- 取引先との誠実な関係を築く。

地域社会との共生を推進

地域と一緒に問題を解決し、地域社会の持続的発展のための活動を推進していく。

主な取組み

- 就労と子育てが両立できる環境を整備する。
- 地域美化・環境維持に努める。
- 地域行事の開催・維持に努める。
- 地域の学校と連携した教育活動を行う。